

フィラリア症のおもな症状



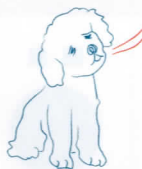
咳が出る



元気がない



尿に血液が混じる



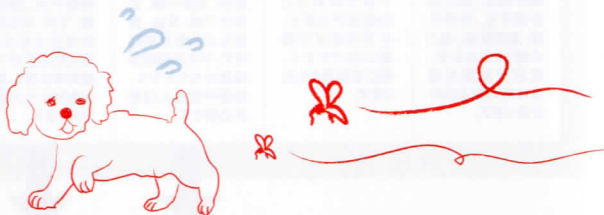
呼吸が苦しそう



食欲がない

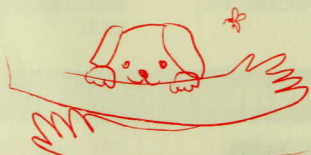


お腹が膨らんできた



365hugs(抱きしめる)

大切な愛犬やあなたのご家族をフィラリアやお腹の虫などの寄生虫から守るためには、定期的な駆虫が必要不可欠です。愛犬やご家族を寄生虫の脅威から守ること=『365hugs』それは愛犬とあなたの絆を深める合言葉です。



365hugs
今日も明日もあなたと一緒に

大切なワンちゃんとあなた自身の健康を守るため、定期的に寄生虫の駆虫を行いましょう!

一度寄生虫の駆虫を行っても、さまざまな感染環境で再感染の危険があります。また、年間を通して寄生虫は活動していますので、定期的に駆虫することがとても重要です。

ノバルティスが提唱する定期駆虫ガイドライン

年間を通して寄生虫は活動しており、感染の危険があります。動物病院での毎月一回の定期駆虫を行いましょう。

寄生虫の活動期間例

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フィラリア				←								
お腹の虫	←											→

※地域によって寄生虫の活動期間は異なります。詳しくは動物病院でご確認ください。

寄生虫はズーノーシスの原因にもなります

ズーノーシスとは、さまざまな環境で寄生虫に感染した動物から、人へ感染する伝染病で、「人畜共通感染症」や「動物由来感染症」とも呼ばれています。人とペットの関係がますます身近になるにつれ、ズーノーシスの危険性も高まっています!

*当院へお気軽にご相談ください。

ノバルティス アニマルヘルス株式会社

東京都港区西麻布4丁目12番24号

ノバルティスカスタマーサービス TEL.0120-162-419
(月~金)9:00~12:00 13:00~17:00(祝祭日は除く)

MIL1202-04-HB

動物用医薬品 要指示医薬品

犬系状虫症予防・消化管内線虫駆除剤

ミルベマイシンA



365hugs
今日も明日もあなたと一緒に

フィラリア・寄生虫から守ってね。
合言葉は『365hugs』

※詳しい情報はこちらのサイトにアクセス
▶ <http://www.365hugs.jp>

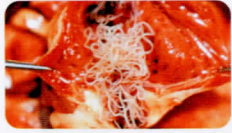
NOVARTIS
ANIMAL HEALTH

このご案内はミルベマイシンA®を処方されたオーナー様向けです。

フィラリアから守る!



フィラリア症は、フィラリアという寄生虫を蚊が運び感染します。



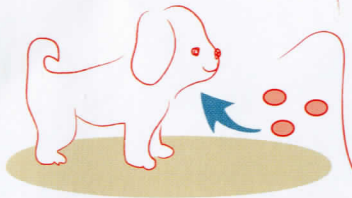
※心臓に寄生したフィラリア



フィラリアは犬の心臓や肺の血管に寄生する、細長い線虫だよ。

予防方法は?

定期的な予防薬で駆除!



フィラリア症の予防薬は、予防薬といってもワクチンのように感染を阻止するのではなく、犬の体内にいるフィラリアの幼虫を1か月に1回の投薬で駆除するのです。

途中で予防をやめてしまったら?

予防の途中で投薬をやめてしまうと、フィラリアに感染する可能性が高くなり、それまで投与していたお薬が無駄になってしまうかも知れません。必ず、指示された期間投薬を続けましょう。

蚊に刺された後1か月分の幼虫をまとめて駆除するので毎月1回お薬を飲ませて予防しましょうね!



お腹の虫から守る!



恐ろしい病気をもたらす寄生虫をまとめてクリーンアップ!

フィラリア 予防



咳が出る、尿に血が混ざる、食欲不振、腹部膨満などの症状が出ます。症状が重篤な場合は死に至る恐れがあります。

鞭虫



下痢や貧血などの症状が出ます。子犬は症状が重篤になりやすく、死亡する場合もあります。

鉤虫



腹痛、食欲不振、出血性下痢、貧血、衰弱などの症状が出ます。子犬は症状が重篤になりやすく、血便や貧血に注意が必要です。

回虫



発育不良、腹部膨満、下痢、貧血などの症状が出ます。母犬から子犬への感染率が高く、症状が重篤になる恐れがあります。

人間にも感染します!

《鉤虫の幼虫移行症》



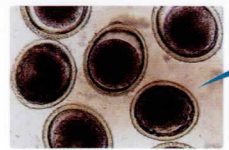
人に感染すると、皮膚から侵入した鉤虫の幼虫が、その周辺を移行して皮膚炎などを起こすことがあります。

《回虫の幼虫移行症》

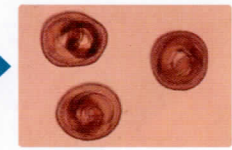


人に感染すると、幼虫のまま内臓や眼や皮膚の下・脊髄などに移動して、様々な病害を引き起こします。

犬回虫の卵は越冬する事が確認されています。



回虫のメスは1日に20万個の卵を産みます。

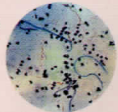


約10~20日で感染の高い卵となり、1年以上感染力を持ち続けます。

フィラリアが犬の体の中に入ると...

感染犬を蚊が吸血

マイクロフィラリアが蚊の体内へ入る。

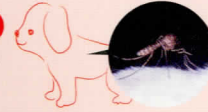


感染幼虫

子虫は蚊の体内で感染幼虫に発育。

健康犬を蚊が吸血

感染幼虫を持った蚊が犬を吸血し、感染。

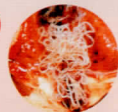


犬の体内に入ったマイクロフィラリアが大きくなり、心臓や肺動脈に寄生する前に薬で駆除することが重要です。

ここで駆除!

成虫

約3ヵ月後、成虫となり子虫を生みだす。



心臓に移動

成長を続けながら、心臓や肺動脈にたどりつく。



発育

約3ヵ月間、犬の体内で発育を続ける。

